

大会宣言＝(案)＝

私たちは本日、「東武ホテルレバント東京」で第25回定期大会を開催し、2016年度の運動方針を満場一致で確認した。

最優先課題である安全確立にむけた取り組みについては、福知山線列車事故をはじめとする重大事故を二度と引き起こさないとの強い決意に立ち、現場に根ざした徹底した労使協議を通じた対策を講じることとする。また、未だ重大インシデントや労災死亡事故が発生している事態を直視し、「安全指針（改訂版2016）」にもとづき、グループ会社や協力会社を含めたすべてのＪＲ関係労働者の総掛かりの取り組みで、さらなる安全性の向上を図る。

そして、安全性向上の取り組みを基盤に、交通政策については、「チーム公共交通」の形成をはじめとした中長期的政策を推進するとともに、2017年3月末で期限切れとなる税制特例措置への対応、熊本地震をはじめとする自然災害による被災への対応及び防災・減災対策、整備新幹線に係る諸課題、貨物鉄道へのモーダルシフト、あるいはＪＲバスに係る制度・政策要求など、喫緊の課題に対処すべく、今日まで培ってきた政策提言・実現力を発揮することとする。労働政策については、「中期労働政策ビジョン（2014～2018）」で示した、グループ労組や非正規組合員を含めたすべてのＪＲ関係労働者に相応しい働き方を実現すべく、2017春季生活闘争及び労働協約改訂交渉などについて、加盟各単組及びエリア連合の取り組みをいっそう強化する。

また、ＪＲ労働界から過激派組織を一掃し、民主的な労働運動の確立を目的とする民主化闘争は、今一度原点に立ち返り、2009年に提唱した「あるべき労働組合像・労使関係像」の実現にむけ、他労組組合員へのアプローチを強化し、あらためて内外の民主化勢力を糾合するとともに、民主化当該単組のみならずＪＲ連合の総力を挙げて徹底した組織拡大に取り組む。そして、革マル派浸透の危険性や運動の異常性について、引き続きＪＲ連合として内外に警鐘を鳴らす取り組みを進めることとする。

安倍総理は、消費税増税の再延期を「新しい判断」だとし、第24回参議院議員選挙でその信を問うと公言しているが、信を問われるべきものは、消費税増税の再延期ではなく、子育てや介護をはじめとした差し迫った課題を放置してきた、金融政策頼みのアベノミクスの是非ではないか。今こそ私たち国民、労働者が立ち上がり、第24回参議院議員選挙では、安倍政権からの政権奪取の礎とすべく、私たちの声を国政に届ける仲間を一人でも多くつくり上げていかなければならない。

これらの多くの課題に対して、ＪＲを代表する産別としての責任と自覚を持ち、本大会の議論を踏まえて、組織を挙げて運動を積極果敢に展開していく決意を表明する。

以上、宣言する。

2016年6月15日

日本鉄道労働組合連合会（ＪＲ連合）
第25回定期大会